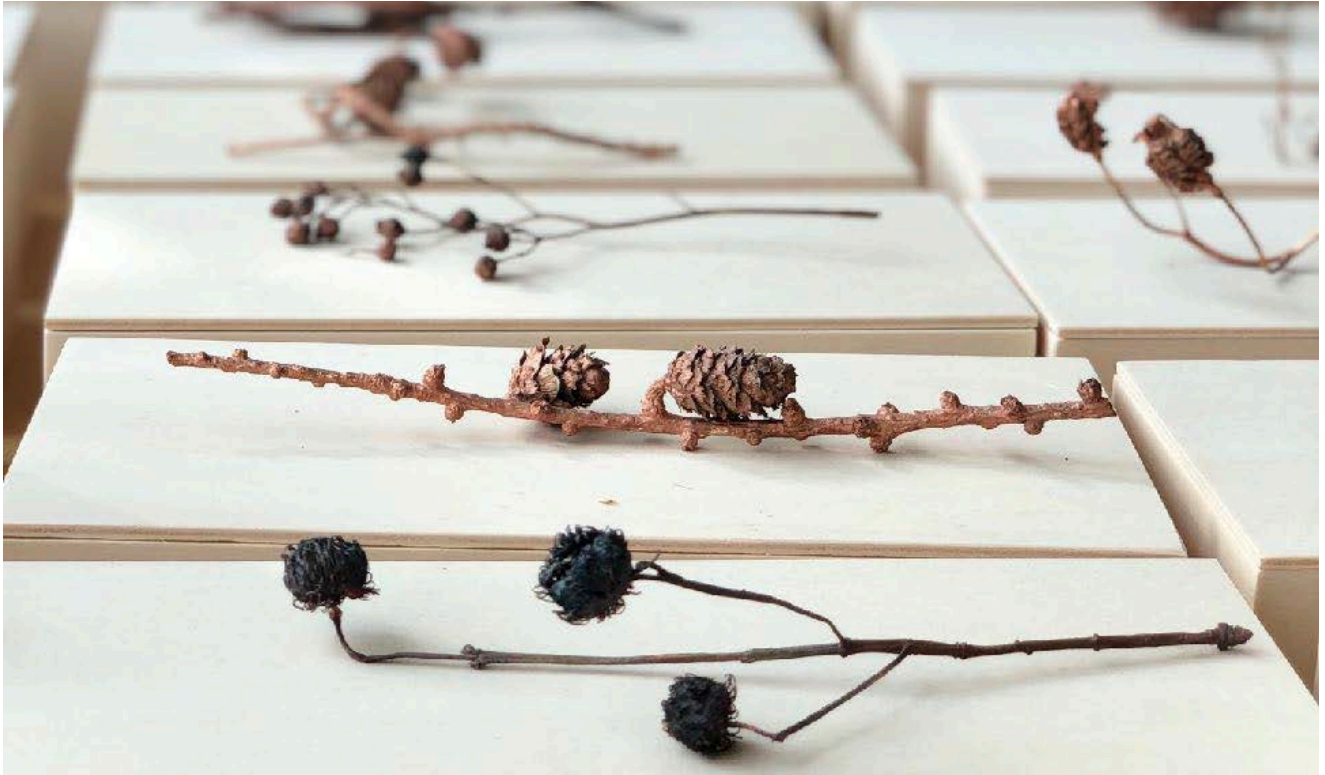


ドイツのアーティストユニットLutzenberger + Lutzenberger 「INNEHALTEN - 繊細な鑄造」展

会場：日日 (gallery nichinichi) /京都市

会期：2024年1月3日 (水) - 1月22日 (月)

ある瞬間の生命の姿を留めた美しいオブジェ約100点を展示販売



暮らしに仕える用の具、工芸、そしてアートの領域を行き来しながら、国内外の手仕事を提案する京都市上京区のギャラリー「日日」(gallery nichinichi)は、2024年1月3日(水) - 1月22日(月)の期間、これまで日本で紹介されることのなかったドイツのアーティストユニット、SusannaとパートナーであるBernhardによる<Lutzenberger + Lutzenberger>の作品展「INNEHALTEN - 繊細な鑄造」展を開催します。

本展示会では、春を待つ固い種や枯れた枝葉の中の、大きく成長していく生命のエネルギーと美を作品化し展示します。<Lutzenberger + Lutzenberger>は、南ドイツの森に佇むフランケンホーフナー湖のほとり、旅先のギリシャの海岸、京都など、様々な風景のなかで、枯れた植物、残った実、落ちた鞘や枝葉を拾い上げながら、鑄びていくもの、風化の美しさを見つめ、その循環するプロセスのなかにある「合間」、再び動き始める手前の「休止」、そして新しいものを生み出していく「循環」を、作品のテーマとしています。

ある瞬間の生命の姿を、鑄造(キャスト)という手法で留めた作品のモチーフは、窯のなかで焼き尽くされ灰と化しますが、残った青銅は、繊毛の一本一本までも生き生きと表現され、無限の色や香り、ここから続く根や枝を感じさせます。採取された100点近いモチーフは、一点一点それぞれに採取場所の緯度経度が明記され、植物の学名とともに、ブロンズピースとなって木箱に大切に収まっています。掌にのるようなサイズとは対照的に、植物の造形、肌感、触感、量感が圧倒的で、大きな存在感を発揮しています。

展示会のタイトルに用いられているドイツ語の「innehalten」とは、「間」「無常」「休止」を意味します。秋から冬にかけて、植物は立ち枯れ、形が無くなり、絶えたかのように見えていますが、次の芽吹はずでに存在し、新しい命の姿を生み出す時に備えています。

*会期中、Lutzenberger + Lutzenberger の在廊およびトークを予定しています。詳細は2P目をご覧ください。

展示会概要

日本語タイトル：「INNEHALTEN - 繊細な鑄造」（「イネハルテン - 繊細な鑄造」）

英文タイトル：「INNEHALTEN - Subtle Bronze Castings」

会期：2024年1月3日（水） - 1月22日（月）

作家：Lutzenberger + Lutzenberger（Susanna、Bernhard）

時間：10：00～18:00 / 1月3日（水）を除く火曜、水曜定休

会場：日日（gallery nichinichi）

住所：京都市上京区信富町298

在廊：1月3日（水） 4日（木） 6日（土） 7日（日）

トークイベント： 1月8日（月） 14:00 - 16:00 「対談：一瞬のうちに永遠を見る」

入場料. 無料 定員. 事前予約制 先着15名

予約申込先. mail@nichinichi.com

お名前、ふりがな、ご職業、携帯電話番号、メールアドレスを記載ください。

*作品の価格はそれぞれ一点一点異なります。詳細につきましてはお問い合わせください。

Lutzenberger + Lutzenberger 作家紹介

Susanna（スザナ）とBernhard（ベルンハルト）は、いずれも南ドイツに生まれ、豊かな森や湖、アルプスの山々といった自然に親しみながら育ちました。元々、プロダクトや空間のデザイナーとして活動する一方で、2000年以降は、聖なるものへの造形～教会の祭壇や典礼家具の制作を中心とした極めてユニークな領域を確固たるものにしました。石、木、金属、蜜蝋などの自然物を好んで使いながら、表面的な美しさだけに留まらない、心の深くにまで作用するような精神性の高い仕事は、国内外で非常に高く評価され、アートやデザインというカテゴリーを超えて活躍する、類を見ないアーティストユニットです。

プロフィール



Susanna と パートナーであるBernhardによるユニット。

Susannaは1963年バートライヘンハル生まれ。ヨーロッパの織物工房で働いたのち、シュトゥットガルト芸術大学でテキスタイルデザインを専攻。

Bernhardは1958年 アウグスブルグ生まれ。州立の宝飾専門学校で 銀細工を学んだのち、金属の工房を設立。その後、アジア、北米、メキシコを旅したのちに Susannaとユニットを組む。

1991年よりドイツを拠点としながら、プロダクトデザインから、アート、インテリア、建築まで幅広い創作活動を行う。近年の活動の中心は、アートと建築を融合させる主に聖なる空間のプロジェクトが多く、国内外から非常に高い評価を受けている。

1991年のユニット設立以降は、シルバーやステンレスによるフラワーベース、エスプレッソマシーン、燭台などのプロダクトデザイン、木をはじめとした自然素材を用いた家具、建築、展覧会の会場デザインなどを手がける。2000年以降は、ミュンヘンやアウグスブルグなどドイツを中心としたヨーロッパの教会や病院の中の礼拝堂などへ、祭壇、典礼家具、典礼用具など教会におけるインテリアやプロダクトのデザインから祈りの部屋、壁画、ファサード、内陣など聖なる空間や建築のデザインを手がけるようになる。現在まで、ミュンヘン聖心教会の祭壇の壁、典礼家具（2000年）、フリードリヒスハーフェン病院の礼拝堂祭壇の壁、典礼の場所（2002年）福音ルーテルガブリエル教会イスマニング、典礼の場所（2009年）、マリアイマキュラータクロススターペンシャルト教会 内閣、洗礼堂、懺悔室（2012年）、聖キリアン・ロドハイム聖域、典礼家具（2018年）をはじめ毎年複数のプロジェクトに携わっている。

展覧会展示作品イメージ



Lutzenberger + Lutzenberger 過去作品より抜粋

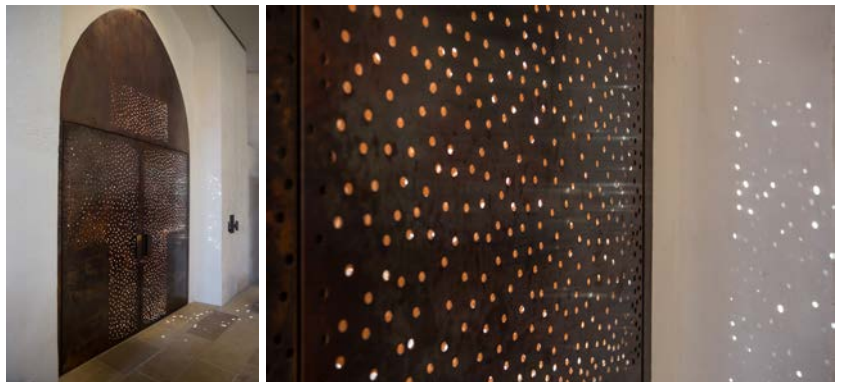
2000年制作 教会名 herz jesu カソリックの聖心教会
場所 münchen ミュンヘン



2001年制作
教会名 st. georg freising 聖ゲオルク教会、聖域
場所 freising フライジング



2015年制作
教会名 evang. luth. stadtkirche (プロテスタントの中央教会の門)
場所 schwabach シュヴァバッハ



2021年制作
教会名 st. maria magdalena マグダラのマリア教会、地下聖堂
場所 buchbrunn ブフブルン



2022年制作
教会名 st. oswald 聖オスワルド教会
場所 stockach シュトッカッハ



日日について <https://nichinichi.com>

暮らしに仕える用の具、工芸、そしてアートの領域を行き来しながら、国内外の手仕事を紹介するギャラリー「日日」。京都の御所東に建つ100余年の日本家屋には、ギャラリーのほかに、オーガニックの日本茶に特化したティールーム「冬夏」を併設しています。

冬夏 tearoom toka <https://tokaseisei.com>



プレスお問合せ窓口：HOW INC.
MAIL： pressrelease@how-pr.co.jp
TEL：03-5414-6405

お客さまお問合せ窓口：日日 gallery nichinichi
MAIL： mail@nichinichi.com
Website： <https://nichinichi.com>